

業務の概要

令和2年度 業務実績

【第3期中期計画の主要事業の実施状況】

- ・児童・思春期、青年期の子どもに関する課題への対応を図るため、令和6年度開設予定の「子どものこころ総合医療センター（仮称）」について、専門病棟、専門外来、思春期デイケア（小規模デイケア）の新設と人材育成に向けた検討を開始した。
- ・令和3年度のm-ECT治療のセンター化に向け、施設改修を開始した。
- ・薬物及びギャンブル等依存症に係る「依存症専門医療機関」及び「依存症治療拠点機関」に選定された。

◆高度・専門医療の提供

（1）精神科救急医療の提供

- ・県内精神科救急の拠点として、24時間365日体制で救急患者の受入れ態勢を確保
【救急時間外対応件数：272件、うち入院件数87件（31.9%）】
【緊急措置及び措置入院件数：20件】
- ・措置入院患者に対して、保健所と連携し「地方自治体が行う退院支援のガイドライン」に沿った退院支援を実施 【実施件数：6件】

（2）外来機能の充実

- ・外来救急やウォークイン患者に対し、緊急性の評価を行い、適切な診療を実施
【2年度：80件、うち入院件数47件 入院率58.8%】

（3）クロザピン治療の実施

- ・治療抵抗性や難治性疾患患者に対し、クロザピンの治療を実施して、長期入院となっていた患者の退院を促進
【2年度：9人（年度末 外来5人 入院4人）、元年度：6人】

（4）m-ECT（修正型電気けいれん療法）の実施

- ・薬物療法では効果が見られない難治性、治療抵抗性の精神疾患患者に対し、治療効果の高いm-ECT（修正型電気けいれん療法）を実施（週2回・1日3例）
【2年度：延べ243件、元年度：延べ271件】
- ・治療の充実、実施回数の増を図り、県内医療機関からの入院患者を受入れるため令和3年度のm-ECTのセンター化に向けて施設改修を開始

（5）栄養サポートチーム（NST）による多職種チーム回診の実施

- ・令和2年4月に精神科では取組みの少ない栄養サポートチーム（NST）稼働施設の認定を受け、糖尿病、摂食障がい患者の多職種チームの回診を実施
【2年度：70件（延べ681件）、元年度：62件（延べ500件）】

(6) 児童・思春期精神科医療の提供

- ・児童・思春期、青年期の子どもに関するあらゆる課題に対応するため、令和6年度開設予定の「子どものこころ総合医療センター（仮称）」について、県との連携により専門病棟、専門外来、思春期デイケア（小規模デイケア）の新設と人材育成に向けた検討を開始
- ・「子どものこころ診療センター」において、多角的な視点のもと早期に治療方針を決定するため、医師、看護師、公認心理師及び精神保健福祉士による多職種チームでの外来診療を実施
【2年度：143件、元年度：127件】
- ・発達障害特性のある子どもに対し、親が適切な関わり方を学び二次障害を防止するためのペアレントトレーニングを実施
【2年度：10件、元年度：6件】

(7) 依存症治療の提供

- ・ニーズが高まっているゲーム・インターネット依存症治療に向けた体制を整備し、専門チームにより当院独自の治療プログラムの開発を検討するとともに、緊急避難的・試行的に入院治療を開始（県内初）
- ・アルコール依存症に引き続き、令和2年7月に県から薬物及びギャンブル等依存症に係る「依存症専門医療機関」及び「依存症治療拠点機関」の選定を受け、依存症専門プログラムを充実させるとともに、関係医療機関との連携を強化
- ・令和2年1月に県から指定を受けたアルコール依存症に係る「依存症専門医療機関」及び「依存症治療拠点機関」として、依存症で悩む家族のためのプログラム（クラフト（CRAFT））を試行的に開始

(8) 医療観察法による医療の提供

- ・指定入院医療機関及び指定通院医療機関として、厚生労働省が示す医療観察法各種ガイドラインに沿い、対象者の社会復帰に向けた治療を実施
- ・外部評価会議、地域連絡会議を開催し、病棟の運営状況や処遇事例、緊急時における関係機関との連携などについて意見交換

◆地域包括ケアシステムの推進

(1) 認知症の専門医療の提供

- ・令和2年4月に県の指定を受け、上伊那圏域における認知症疾患医療センターを開設し、専門相談等を開始
- ・電話（専用電話）にて当事者、家族、医療介護福祉関係者等からの認知症に関する相談を、専門スタッフが実施
【専門医療相談（電話・面接）：1,565件】
- ・医師、保健師、公認心理師など多職種による「もの忘れ外来」を実施し、地域における生活支援を目的として地域包括支援センター、居宅介護事業所等への紹介など医療・介護の連携を推進
【もの忘れ外来件数：1,981件（内鑑別診断91件）、包括支援センターへの情報提供件数：65件】

- ・入院治療の必要な患者に対して、多職種で構成される「認知症高齢者ケアサポートチーム」による病棟ラウンドを行い、治療方針などに活用
- ・令和2年12月に認知症に関する知識の普及・啓発及び地域ネットワーク活動の周知を目的として、研修会をWebで開催【参加者数：80人】
- ・令和3年2月に関係機関（認知症医療機関、行政・相談支援機関、福祉・介護に係る団体、家族の会等）との連携協議会を開催
- ・駒ヶ根市が実施する「認知症初期集中支援チーム事業」に認知症認定看護師と作業療法士が参画し、相談応需や訪問支援等を実施
【訪問回数 2年度：延べ19件、元年度：延べ56件】

(2) 精神障がい者にも対応した地域包括ケアへの参画

- ・将来の精神科地域医療構想を踏まえ、訪問看護ステーション化に向けたコアチームを設置し、運営方法や開設までのスケジュールを検討
- ・デイケアにおける入院作業療法との連携及び円滑な地域移行に結び付けるためのリワークプログラムを実施
- ・デイケアプログラムの強化、発達障がい等の治療的プログラム（ソーシャルスキルトレーニング（SST））を導入

(3) 精神科訪問看護の実施

- ・退院前カンファレンスへの訪問看護師の参加と退院後の速やかな訪問看護を実施。特に初回の入院患者は毎週訪問（退院後1ヶ月間）を行い、3ヶ月以内の再入院を防止
【訪問看護件数 2年度：1,932件（再入院率※18.3%）、元年度：1,982件（再入院率14.2%）】

※全国自治体病院協議会の医療の質の評価公表では、令和2年4月から12月の全国平均は18.8%であり、当院は全国平均以下を維持

◆地域の保健・福祉関係機関等との連携の推進

- ・児童相談所との連携強化のため、諏訪及び飯田児童相談所への医師の派遣
- ・市町村、児童相談所、要保護児童対策地域協議会等と連携し、虐待や自殺企図、摂食障がいなど緊急入院への対応
- ・児童病棟満床時には、緊急避難的に成人病棟で児童患者を受入れ
【新規入院患者数 2年度：53人、うち緊急・優先入院3人、うち成人病棟へ24人
元年度：54人、うち緊急・優先入院4人、うち成人病棟へ14人】
- ・認知症疾患医療センター開設により鑑別診断が増え、診断結果をかかりつけ医や地域診療所に紹介したことにより、他の医療機関への逆紹介率が増加
【紹介率 2年度：52.5%、元年度：52.5% 逆紹介率 2年度：48.1%、元年度38.1%】

◆災害医療の提供

- ・令和3年1月に、長野県からの要請を受けて、新型コロナ感染のクラスターが発生した東信地域の1医療機関へDPATのチーム員4人を派遣し、職員の精神的疲弊に対応するた

め面談を実施（延べ日数：12日）

- ・令和3年1月に国立小諸高原病院と「災害時等における相互支援に関する協定」を締結

◆新型コロナウイルス感染症への対応

- ・精神疾患があり、かつ感染の疑いがある患者の受入れ
【疑い患者受入数：15人（延べ71日、入院日数（平均）4.7日）】
【PCR検査：8件（保健所、他院対応）、抗原検査：9件】

◆医療従事者の養成と専門性の向上

- (1) 県内医療に貢献する医師の確保・養成
 - ・初期研修医制度の精神科必須化に伴い研修医12人の受入れ（選択制10人を含む）
- (2) 県内医療従事者の技術水準の向上への貢献
 - ・「精神科研修・研究センター」による県内の医療従事者を対象とした出前講座を実施
【実施回数：5回、参加数107人】
- (3) 信州大学等との連携
 - ・連携大学院教育による勤務医の博士取得に係る臨床研究の実施（臨床での指導2人）
 - ・子どもどころ公開講座をWeb開催し、小児科医等5名が参加
(その他、関係者の参加160人)

◆医療の質の向上

- (1) より安全で信頼できる医療の提供
 - ・感染症、災害・事故等発生時において速やかな対応を行うため、「災害時通信アプリ」を利用し、訓練を行うとともに緊急時に全職員へ情報を提供
- (2) 医療等サービスの一層の向上
 - ・入院から退院までの診療・看護を遂行していく過程（ケアプロセス）について、多職種によるチーム医療の実施状況を検証
- (3) 先端技術の活用
 - ・院内のインターネット環境を再整備し、オンライン面会を開始（200件）児童精神科病棟の需要が特に高く、142件（全体の7割）の面会を実施
 - ・Web研修やオンラインでの支援会議、公開講座を実施する機器や体制を整備

◆経営力の強化

- (1) 職員満足度向上のための取組み
 - ・院内広報誌「猫べんちのつぶやき」を年度内に6回発行し、新入職員や院内での新規事業への取組み等を紹介
 - ・新型コロナの感染対応に努めた職員及びセクションを中心に、感謝のメッセージを送り、前述の院内広報誌でその内容を紹介

-
- ・若手職員、中堅看護師等を対象として、座談会形式による院長と自由な意見交換を交わす場を創出

(2) 働き方改革への対応

- ・働き方改革を推進するため、病院独自の「働き方改革宣言」を行い、方針の明確化と目標の設定を行うとともに、職員の理解を深めるため、リーフレットを作成し配布
- ・夜間の電話対応等、緊急以外の患者からの相談業務を外来診療時間内に移行し、看護当直の業務負担を軽減

(3) 情報発信

- ・院外広報誌「ここ駒通信」を伊南4市町村へ隣組回覧しているほか、特集の内容に応じて発送先を毎号検討している。（「認知症特集」は高齢者施設へ、「思春期デイケア特集」は県内教育機関へ発送など）
- ・地域住民への精神科医療の理解促進を目的に、上伊那地域の情報誌「月刊かみいな」へコラム記事を掲載
- ・各報道機関への取材協力により、依存症治療や災害協定等についての記事が掲載
【新聞等掲載数 2年度：16回、元年度：27件】

講演・研究発表等の状況

(1) 学会

学会の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
第 14 回日本ファーマシューティカルコミュニケーション学会大会	R2.6.28	Web	五味 和彦	薬剤師にとっての病識の指標に関する質的研究
第 54 回日本作業療法学会	R2.9.25 ~ R2.10.25	Web	稲垣 佑輔	精神科急性期入院治療による統合失調症
第 28 回精神科救急学会総会	R2.10.10	Web	埴原 秋児	認知症におけるリスク管理
第 39 回信州精神神経学会	R2.10.17	Web	藤井 義之	選択的左扁桃海馬切除後に de novo 精神病を呈した一例
第 39 回信州精神神経学会	R2.10.17	Web	廣田聡一郎	亜急性に進行し遅発性症候群と考えられた薬剤性パーキンソニズムの一例
第 43 回長野県栄養改善学会	R2.10.24	長野県塩尻市	丸山由紀子	精神科単科病院における NST 活動の効果
日本病院薬剤師会関東ブロック第 51 回学術大会	R2.10.31 ~ R2.11.8	Web	田端真理生	精神科救急、急性期病棟における処方提案の分析
第 55 回長野県精神科病院協議会職員研修会	R3.2.20	Web	稲垣 佑輔	統合失調患者の認知機能障害と主観

(2) 講演会等

講演会の名称 依頼者等の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
<講演会>				
虐待予防自助グループ (子育てママの会) 伊那市	R2.9.30 ~ R2.12.16 (全 6 回)	長野県伊那市	多々良恭子	Nobody's Perfect プログラム(親教育支援プログラム) のファシリテーション
キャラバンメイト養成 研修 NPO 法人地域支え合い ネット	R2.10.23	長野県駒ヶ根市	三浦 典子	認知症の理解・地域での支え方について等
日本精神科看護協会長野県支部研修会 日本精神科看護協会長野県支部	R2.12.12	Web	高橋たか子	事例検討会
うつ病及び自殺対策研修会 一般社団法人長野県薬剤師協会	R3.1.24	長野県松本市	犬塚 伸	うつ病予防、自殺対策

講演会の名称 依頼者等の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
発達障害学習会 (支援者向け) 諏訪市	R3.2.6	Web	原田 謙	児童虐待防止と発達支援について
発達障害学習会 (一般向け) 諏訪市	R3.2.20	Web	原田 謙	児童虐待防止と発達支援について
学術講演会 飯田医師会	R3.3.29	長野県 飯田市	足立 順代	アルコール依存症のプライマリ ケア
< 出前講座 >				
下伊那南部保健師研修会 同上	R2.8.20	長野県 阿南町	高橋たか子 佐藤みずき	アルコール依存症の支援について
箕輪町精神障がい者家 族会研修会 箕輪町	R2.9.8	長野県 箕輪町	多々良恭子 富田 雅俊	SST ストレスの付き合い方とコミュ ニケーション
企業経営者向けグート キーパー養成講座 箕輪町	R2.10.2	長野県 箕輪町	谷 美加	見逃さないで、こころの不調 ～まわりの人にできること～ うつ病予防、自殺対策
自殺未遂対応者の対応 に関する研修会 伊那中央病院	R2.10.14	長野県 伊那市	黒川めぐみ 熊谷 照美	自殺未遂患者の対応について
こころの健康サポーター 研修会 (市職員向け) 伊那市	R2.10.23	長野県 伊那市	谷 美加	こころの不調への気づき～自分・ 周りの人ができること～ うつ病予防、自殺対策
災害時におけるこころ のケア 長野県歯科衛生士会	R2.11.15	長野県 飯田市	北澤夕紀子	PFA サイコロジカルファースト エイド～災害時におけるこころ のケア～
木曾保健福祉事務所管内 保健師研修会 木曾保健師会	R2.11.17	長野県 木曾町	三浦 典子	高齢者のうつと認知症について
精神科看護についての 研修 伊南訪問看護ステーシ ョン	R2.11.25	長野県 駒ヶ根市	黒川めぐみ 三浦 典子	精神疾患・認知症を有する患者 様への関わり方について
第 14 回アルコール問題 研修会 茅野酒害者回復クラブ	R2.12.8	長野県 諏訪市	高橋たか子 佐藤みずき	アルコール問題とアンガーマネ ジメントについて
こころの健康サポーター 研修会 (関係施設職員向け) 伊那市	R2.12.11	長野県 伊那市	谷 美加	こころの不調への気づき～自分・ 周りの人ができること～ うつ病予防、自殺対策

講演会の名称 依頼者等の名称	開催日	場 所	発表者	内 容
こころの健康サポーター 研修会 (中小企業事業主向け) 伊那市	R3.1.15	長野県 伊那市	鵜澤 正寛	うつ病予防、自殺対策
箕輪町精神障がい者当 事者の会 箕輪町	R3.1.19	長野県 箕輪町	多々良恭子 富田 雅俊	SST、MCT
利用者向けメンタルヘル ス講座 SAKURA 岡谷センター	R3.3.3	Web	黒川めぐみ 江連比呂子	メンタルコントロールについて
こころの健康づくり講 演会 辰野町	R3.3.6	長野県 辰野町	谷 美加	見逃さないで、こころの不調 ～まわりの人にできること～ うつ病予防、自殺対策

(3) 講義

機関名	実施日	場所	講師	科目、内容
上伊那医師会附属准看 護学院	R2.4～ R3.3	長野県 伊那市	木下 朗子 森下 悦子	精神科看護
信州木曾看護専門学校	R2.7.27 R2.9.7	長野県 木曾町	大倉 直紀	災害看護・国際看護
	R2.9.23		蓑和 路子	精神医学総論 精神症候学
	R2.9.25 R2.9.28		三浦 典子	精神看護学概論
	R2.10.2		原田 謙	児童・青年期の障害（摂食障害 を含む）1.2
	R2.10.14		蓑和 路子	気分障害
	R2.10.30		原田 謙	神経症圏の障害とストレス関連 性障害 1.2
	R2.11.9		埴原 秋児	器質性精神障害
	R2.11.11		蓑和 路子	統合失調症 精神科における検査・療法
	R2.11.12		黒川めぐみ	精神機能障害論
	R2.11.13		六井 雅子	キャリア開発講座
R2.12.1	犬塚 伸	アルコールおよび精神作用物質 関連障害		
R.3.1.6	高橋たか子	精神看護援助論 I		
信州大学医学部	R2.11.6	長野県 松本市	埴原 秋児	精神医学系統講義 神経器質性精神障害

機関名	実施日	場所	講師	科目、内容
長野県須坂看護専門学校	R2.10.7 ~ R2.10.8 R2.11.16	長野県 須坂市	大蔵 真理	精神援助論Ⅱ
	R2.11.25~ R2.11.26 R2.12.3		熊谷 照美	精神援助論Ⅱ
岡谷市看護専門学校	R2.12.4	長野県 岡谷市	高橋たか子	精神援助論Ⅰ（依存症）
長野県看護大学	R2.9.25	長野県 駒ヶ根市	竹内 玲子	病院オリエンテーション 精神看護実習に臨むにあたって

（４）研究論文

著者名	題 名	著書・雑誌名・集録名・ 発行年・出版社名
原田 謙	反抗挑発症／反抗挑戦性障害	『今日の疾患辞典』 2020年4月、プレジジョン
原田 謙	素行症／素行障害	『今日の疾患辞典』 2020年4月、プレジジョン
原田 謙	秩序破壊的・衝動制御・素行症候群	『精神科治療学 Vol.35 増刊号 児童青年期の精神疾患治療ハンドブック』 2020年10月、星和書店
原田 謙	不安障害（強迫性障害・パニック障害・外傷後ストレス障害）	『今日の小児治療指針』 2020年11月、医学書院
鈴木 千穂	チームで支えあい、患児とともに成長する組織へ	『子どものこころを育むケアー児童・思春期精神看護の技』 2020年8月、精神看護出版

研修医受入状況

病院名	受け入れ期間	受け入れ人数
信州医療センター	R2.8.31 ~ R2.9.25	1
	R2.10.26 ~ R2.11.20	1
	R2.11.24 ~ R2.12.28	1
	R3.1.4 ~ R3.1.29	1
伊那中央病院	R2.6.1 ~ R2.6.26	1
	R2.6.29 ~ R2.7.22	1
	R2.7.27 ~ R2.8.21	1
	R2.9.28 ~ R2.10.23	1
飯田市立病院	R2.6.1 ~ R2.6.26	1
	R3.2.1 ~ R3.2.25	1
	R3.3.1 ~ R3.3.26	2

実習受入状況 (インターン等を含む)

(1) 臨床実習

大学名等	区分・学年	受け入れ期間	受け入れ人数
信州大学医学部医学科	5年	R2.9.28 ~ R2.10.22	1
		R2.10.26 ~ R2.11.19	1
		R2.11.24 ~ R2.12.17	1
		R3.1.4 ~ R3.1.8	1
		R3.2.8 ~ R3.2.25	1

(2) 精神科看護実習

大学名等	区分・学年	受け入れ期間	受け入れ人数
長野県看護大学	臨床看護実習 3年	R2.9.8 ~ R2.10.9	10
	在宅看護実習 3年	R2.10.12 ~ R2.10.13	4
		R2.11.9 ~ R2.11.10	4
信州木曾看護専門学校	臨床看護実習 3年	R2.7.2 ~ R2.7.15	5
		R2.8.13 ~ R2.8.26	8
長野県須坂看護専門学校	臨床看護実習 3年	R2.10.19 ~ R2.10.29	13
上伊那医師会附属 准看護学院	臨床看護実習 2年	R2.7.27 ~ R2.8.27	7

(3) 作業療法実習

大学名等	区分・学年	受け入れ期間	受け入れ人数
信州大学医学部 保健学科	4年	R2.4.6 ~ R2.5.29	1
		R2.8.10 ~ R2.9.25	1
長野県保健医療大学 保健科学部	3年	R2.8.24 ~ R2.9.11	1
	4年	R2.9.28 ~ R2.11.20	1

(4) 精神保健福祉実習

大学名等	区分・学年	受け入れ期間	受け入れ人数
長野大学社会福祉学部	3年	R2.8.11 ~ R2.9.3	1

(5) 薬学生等精神科実習

大学名等	区分・学年	受け入れ期間	受け入れ人数
信州医療センター	—	R3.2.1. ~ R3.2.5	1
星薬科大学	5年	R2.10.5	1
富山大学	5年	R2.12.4	1
愛知学院大学	5年	R3.1.8	1

意見箱へのご意見

病棟を含め、院内6か所に意見箱を設置し、積極的かつ継続的に意見等の収集に努めている。令和2年度は合計125件の意見、要望が寄せられた。これは前年と比較し、46件減少している。

寄せられた意見等のうち、実行可能なものは速やかに改善を行い、部門横断的な改善活動、情報共有を行い、医療の質の向上に取り組んでいる。

ご意見の内容	29年度	30年度	元年度	2年度
福祉サービスの利用等に関すること	1	0	0	0
障がいや病状に関すること	0	0	0	0
医療に関すること	2	9	1	0
不安の解消・情緒安定に関すること	5	2	0	0
家族関係・人間関係に関すること	0	0	0	0
就労に関すること	0	0	0	0
家計・経済に関すること	0	0	0	0
社会参加・余暇活動に関すること	0	0	0	0
権利擁護に関すること	0	1	0	0
薬に関すること	0	0	1	3
栄養に関すること	18	20	27	12
作業療法に関すること	0	0	1	3
デイケアに関すること	0	1	0	3
訪問看護に関すること	0	0	0	0
接遇に関すること	21	24	21	17
虐待・家庭内暴力に関すること	0	0	0	0
環境整備に関すること	23	28	28	25
治療環境に関すること	25	12	37	33
その他	4	37	55	29
計	99	134	171	125

* その他の意見については、病状によるものが大半を占めている。

病院運営各種委員会等

令和3年3月31日現在

会議名称	所掌事項
病院運営協議会 *	病院の運営等に関し、外部委員からの提言に関すること
病院運営会議	病院の運営等に関すること
倫理委員会 *	倫理審査に関すること
医療観察法病棟 外部評価会議 *	医療観察法ユニットの運営状況や治療内容の外部評価
医療観察法病棟 倫理会議 *	医療観察法ユニットにおける倫理に関すること
医療観察法病棟 地域連絡会議 *	医療観察法ユニットにおける地域連携の確保に関すること
医療観察法病棟 運営会議	医療観察法ユニットの運営状況に関すること
医療観察法病棟 治療評価会議	医療観察法ユニットにおける治療効果の評価に関すること

* 外部委員あり

委員会名称	所掌事項
安全衛生委員会	<p>目 的： 職場の安全衛生に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 働きやすい職場づくりの推進 超過勤務縮減の取組 職員相談体制の充実による心身の健康増進 5S活動の促進及び定着、公務災害の防止 交通安全の推進
医療安全管理委員会	<p>目 的： 医療安全に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 定期的な委員会開催による院内医療安全管理体制の確保 医療事故等の検証による再発防止の徹底 医療安全職員研修の実施による安全意識の啓発
医療ガス安全管理委員会	<p>目 的： 医療ガスの管理・運用に関すること</p> <p>活動実績： (年1回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 医療ガス設備日常点検による安全の確保 安全の確保の為、外部委託による医療ガス定期点検を実施 医療ガス職員研修の実施による安全意識の啓発
院内感染対策委員会	<p>目 的： 感染対策に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 感染対策研修会の出席率向上 感染対策に関する理解度の促進 院内ラウンドの実施 感染対策情報の迅速な提供 院内感染対策マニュアルの改訂 新型コロナウイルスワクチン接種に向けた準備
栄養委員会	<p>目 的： 入院患者の栄養管理に関すること</p> <p>活動実績： (年3回開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 患者の食事満足度の向上策について検討 NST 介入症例の紹介等による栄養サポート体制の強化 NST 介入につなげる方法の検討
栄養サポート委員会	<p>目 的： 栄養リスクのある患者の早期抽出及びモニタリングの実践に関すること</p> <p>活動実績： (毎月開催)</p> <ul style="list-style-type: none"> 栄養サポートが必要な患者の早期抽出とモニタリング リフィーディング症候群チェックリストの作成 栄養サポートに関する研修会の開催 (2回) NST ラウンドの実施 (新規 70 名、延べ 681 人)

委員会名称	所掌事項
患者家族相談窓口 月例会議	<p>目的： 苦情、相談等に関する事</p> <p>活動実績： ・相談等の内容及び担当部署の対応状況の確認 (毎月開催) ・苦情、意見等の分析及び改善活動の効果検証 ・困難事例に対する対応協議</p>
教育研修委員会	<p>目的： 職員研修及び公開講座・出前講座に関する事</p> <p>活動実績： ・教育研修に係る PDCA サイクルの確実な運用 (毎月開催) ・研究研修費の効果的な予算執行、管理 ・職員が活躍できる機会の積極的な提供 (院内研究発表会などの開催) ・精神科研修・研究センターとの連携</p>
クリニカルパス委員会	<p>目的： クリニカルパスの作成・管理・運用に関する事</p> <p>活動実績： ・患者パスの利用促進 (毎月開催) ・クリニカルパス利用促進のための啓発、広報活動及び調査検討、企画立案</p>
クロザリル治療委員会	<p>目的： クロザリルを用いた適正な治療の推進に関する事</p> <p>活動実績： クロザリルの治療申請について、4件の検討を実施 (随時開催)</p>
行動制限最小化委員会	<p>目的： 入院患者の隔離・拘束に関する事</p> <p>活動実績： ・院内における行動制限状況の適切性、最小化のための検討会議を定期開催 (毎月開催) ・全職員を対象とした精神保健福祉法、隔離・拘束の早期解除や、危機予防のための介入技術に関する研修会を実施</p>
広報委員会	<p>目的： 広報活動に関する事</p> <p>活動実績： ・広報室の設置及び広報委員会体制の見直し (年4回開催) ・各種広報媒体作成及び運営</p>
サービス向上委員会	<p>目的： 職員の接遇に関する事</p> <p>活動実績： ・全職員を対象とした接遇標語や研修による啓発活動 (年3回開催) ・院内掲示物ラウンドの実施</p>
事後審査委員会	<p>目的： 特定医師による特例措置の妥当性の検証に関する事</p> <p>活動実績： 特定医師による措置について6件の事後審査を実施 (随時開催)</p>
児童運営委員会	<p>目的： 児童精神科治療に係る運営方針に関する事</p> <p>活動実績： 外来、病棟における運営方針の検討、見直し (毎月開催)</p>
児童虐待対策委員会	<p>目的： 児童虐待への対応に関する事</p> <p>活動実績： ・関係機関との迅速で適切な連携 (毎月開催) ・児童虐待ケース進行管理による継続的な支援を行う体制づくり ・子ども虐待に対する院内研修の実施</p>
医療情報システム 管理委員会	<p>目的： システム管理に関する事</p> <p>活動実績： ・電子カルテ、オーダリングシステムの円滑な運用 (年4回開催) ・院内の適正な情報化推進</p>

委員会名称	所掌事項
褥瘡対策委員会	<p>目 的： 入院患者の褥瘡予防と対応に関すること</p> <p>活動実績： ・褥瘡の予防、適切な治療の実施 (毎月開催) ・院内の褥瘡対策の体制整備 ・褥瘡予防研修会の実施</p>
診療情報管理委員会	<p>目 的： カルテ記載・管理に関すること</p> <p>活動実績： ・診療録の量的、質的監査の実施 (毎月開催) ・災害時カルテの検討</p>
診療情報提供委員会	<p>目 的： 診療情報の開示に関すること</p> <p>活動実績： 診療情報開示請求件数 8 件 (随時開催)</p>
治験受託検討委員会	<p>目 的： 治験受託の決定と適正な執行に関すること</p> <p>活動実績： 新規治験の申し込みに対して円滑な受託可否を検討 (随時開催)</p>
防災対策委員会	<p>目 的： 防災に関すること</p> <p>活動実績： ・前回訓練の反省を生かした訓練の実施 (随時開催) ・訓練結果を踏まえた防災研修会の実施</p>
薬事委員会	<p>目 的： 医薬品の採用・廃止に関すること</p> <p>活動実績： ・適切な後発品採用の実施 (年 2 回開催) ・向精神薬等の適正な使用の推進</p>
QM 委員会	<p>目 的： 医療の質の向上に関すること</p> <p>活動実績： ・病院機能評価受審準備 (毎月開催) ・内部監査員による院内ラウンドの実施 ・ケアプロセス調査の実施 4 件</p>